

令和 7 年 2 月 3 日

東員町議会

議長 伊藤 治雄 様

広田 久男

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7 年 1 月 20 日（月） 【1 日間】
研修（視察）先	・ 福井県おおい町
目的（テーマ等）	・ 議会改革について
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1〔申し合わせ事項〕:【委員会、全協:共通様式】

〔氏名:広田久男〕

1.福井県おおい町の概要

- 1)面積=212.19km²(東員町=22.68km²)、人口=7400人(東員町=25600人)
東員町の約9倍の面積の中に、本町の約1/3の住民が暮らしている自治体である。
- 2)土地のほとんどは中山間地で、農林業・産業資源は乏しいが、関西電力大飯発電所があり、その交付金や補助金等により、豊かな財政を確保している。
- 3)令和6年度の一般会計予算は、東員町=106億5000万円(当初)に対し、おおい町=123億3000万円(当初)、本町よりも約17億円多い予算であり、裕福な自治体であることは容易に想像がつく。

2.おおい町議会 議会改革に向けた取り組み

- 1)2011(H23)年に「おおい町議会基本条例」を制定、2017(H29)年頃より議員報酬についての検討を始めている。
- 2)まず、住民の理解を得るためには、議会の活性化・議会の見える化をはからなくては実現不可能との考えから、議会改革を進めてきている。
- 3)2019(R1)年からタブレット導入をスタートに2024(R6)年までに、議会BCP策定、オンライン委員会導入、通年議会導入、議員定数削減(14→13人)、議員報酬改定、委員会代表質問可、などを進めてきている。
- 4)とりわけ、「住民の理解・住民参画」において、学ぶべき点が多かった。

それは、

- ①各委員会が町民との座談会や意見交換などを盛んに行っていること。
- ②議会報告会、出前懇談会を開催していること。
- ③「オンライン議会報告会」を定期的を実施していること。(自由参加)
- ④文化祭や町内イベント会場に「議会ブース」を出店し、議会活動を啓発していること。
- ⑤区長会や女性団体との定期的な意見交換のほか、中学生議会など学校教育とも連携していること。

以上のような議会改革の取り組みを行ってきた結果、最初は「議会は何をやっているのか」の意見から、「議会はよくやっている」に変わり、議員報酬を改定するときには住民は賛同してくれて、反対意見は聞かれなかった、とのこと。すばらしい！

3.所 感

前項で述べたように「議会改革は何のために取り組むのか」をしっかりと理解し、「何をすれば住民の理解と参画を得ることができるのか」(見える化を図る)、を本町議員が一層の自己研鑽を行った上で、全議員が歩調を合わせ検討・推進できればと考えます。

以 上